

内海聖史

〔画家・境町文化芸術アドバイザー〕

S-gallery 肅祭寶美術館では、5月6日(水・祝)まで森芳雄展を開催いたしました。日本美術史に足跡を残す森作品が町の美術館で観られたのはとても有意義な経験でした。おそらく、今後どこかの美術館で展覧会や再考される機会がある作家なので、その時はより身近で多角的に作品を感じられるのではないのでしょうか？

森作品では、描かれた人体や物が崩されて曖昧に見える表現があります。2024年11月に展示された中嶋明作品なども、人体が正確に描かれるというよりは独特に崩された人物が画面に現れました。「なぜ、上手にきちんと正確に描かないのかな？」と感じるかもしれませんが、「慈愛に満ちた関係性」とか「崇高な存在」などが描かれているように僕は理解しましたが、その「愛」とか「存在」などは正確な形態を持ちません。むしろ正確に「誰か」が「何を」しているということが理解できてしまうと、その情報が邪魔になって描きたい、伝えたい本質が見えにくくなってしまつのではないのでしょうか？

母が子に寄り添っている。子はただただそれに身を任せている。それだけの素直な情報が余計な雑音や装飾なしに眼に写ること、自ずと引き起こされる感情や情景があるかもしれません。境町アートプロジェクトは今後も意義のある展覧会を境町に提供できればと考えています。5月20日(水)からは、美術館の名前を冠した肅祭寶(しゆくさんぼう)の展覧会が始まります。ぜひ回覧板で配布されるチラシの割引券を持って、ご高覧いただければ幸いです。

俳句

令和八年二月 境町文化協会俳句部

兼題 「春雨・木の芽」他当季雑詠

兼題解説

「春雨」

※春の暖かい頃にしとしと降る雨のことで、土を潤し、草木を育て、暖かさをもたらす雨とさられています。

「木の芽」

※春に仲春(おおむね三月)に木々が芽吹き始める様子を表す春の季語で、生命の萌え出づる気配や期待感を詠むときに用いられます。



「肅祭寶の“こだわり”展」

5月20日(水)〜8月11日(火・祝)

S-gallery 肅祭寶美術館(境町坂花町1455-1)

●ワークショップ①

「干支の動物をかこう!」 5月30日(土) 13:30〜15:00

定員:15名(事前予約制) 参加料:無料 場所:S-Gallery 研修室

●ワークショップ②

「消しゴムハンコづくり」 6月27日(土) 13:30〜15:00

定員:15名(事前予約制) ※小学4年生以下は保護者同伴

参加料:無料 場所:S-Gallery 研修室

★「境町アートプロジェクト」作家情報

卯野和宏

① La Nota Mancante (伊語:欠けた音)

5月22日〜11月3日

ヴェネツィア・サンポーロ地区、パラッツォ・ヴェッラーリ

②「アートの夏を泳ぐ」金魚展

8月12日(水)〜17日(月) ※最終日17時閉場

日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊

内海聖史

①「内海聖史個展」

6月2日(火)〜7月28日(火) 木曜日定休日

Bar + ARTGallery 殻々工房(栃木県那須町高久2820-162)

②「ミックスジャムは見た35」

6月16日(火)〜21日(日)

古河街角美術館(茨城県古河市)

★オススメ展覧会

「アンドリュウ・ワイエス展」/ 東京都美術館

4月28日(火)〜7月5日(日)

「ロン・ミュエク」/ 森美術館

4月29日(水)〜9月23日(水)

「河鍋曉斎の世界」/ サントリー美術館

4月22日(水)〜6月21日(日)

春雨や暫く傘を閉じたまま

(宇野) ひろこ

春雨に旅立つ友を思い出す

(佐藤) 友久

春雨や古の芽濡らして季節追ふ

(鈴木) むりき

晩学の古書の匂ひや春の雨

(高塚) 香こ

春の雨濡れて舐め合う子連れ猫

(和田) 雄節

春雨や誰かとぬれたい片手傘

(渡辺) 洋子

春雨や野山ふわりと和みおり

(印出井) 慶子

春雨や育つ野菜に目を細め

(柿沼) 学

春雨やしとしと長き庭占

(落合) すみ子

木の芽摘む祖母が好みの佃煮に

(高橋) 春年

久々の和む心や木の芽ふく

(石塚) 芙蓉

木の芽吹く数多の苦難乗り越えて

(川邊) 光夫

老木の木の芽に我が身励まされ

(渡辺) 晴美

木の芽吹く競うはまるで徒競争

(中村) 仁

夫の郷空き家となりし木の芽かな

(鹿久保) 喜一

木の芽出てランドセル見せ得意顔

(中嶋) きよ乃

亡夫接ぎし色彩あざやかな木の芽かな

(大岡) 幸子

折れた枝それでも木の芽諦めず

(田村) 正子

木の芽張るそよ吹く風を捉えんと

(前田) 妙子

今回の境短歌会山鳩の短歌はお休みです。

「広報さかい」「広報さかいお知らせ版」へ有料広告を掲載しませんか?

広告募集中

広告掲載料

◎ 1段全枠 (44mm×175mm) 15,000円

◎ 1段半枠 (44mm×85mm) 8,000円

※詳しくは下記まで問合せください。



問合せ先 秘書広聴課 電話 81-1329 E-mail kouhou@town.ibaraki-sakai.lg.jp



しゆくさんぼう 肅祭寶の“こだわり”展

5月20日(水)〜8月11日(火) 10:00〜12:00 (入館は11:30まで)
13:15〜17:00 (入館は16:30まで)
休館日:月・火曜日、(7/20 ㊟は開館、22 ㊦が休館)

入館料:330円(現金のみ)

18歳未満、65歳以上は無料(年齢が確認できるものを提示)
各種障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1名無料

主催:境町 企画:境町アートプロジェクト

しゆくさんぼう S-Gallery 肅祭寶美術館
茨城県猿島郡境町1455-1
Tel. 0280-23-4148